

令和4年 12月定例会

福井県議会だより

第39号

審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください



【雪と参拝】 福井大学写真部 提供
撮影地:永平寺参道

定例会の概要

12月定例会は、11月29日に開会し、12月23日までの25日間にわたって審議を行いました。

開会日には、福井県議会議員表彰規程に基づき、議員表彰決議案を可決し、8名の議員が永年勤続表彰を受けました。また、9月定例会から継続審査となっていた令和3年度の県および公営企業会計の決算に係る議案を可決しました。知事から国土強靱化や物価高騰・円安対策等の12月補正予算案等17件の議案が提出されるとともに、議員発議により「福井県議会の保有する個人情報の保護に関する条例(案)」が提出されました。

今定例会では、北陸新幹線の令和5年度当初の敦賀以西着工に関して議論が集中し、認可着工の見送りによる影響と対応についてただすとともに、一日も早い大阪までの全線開通の実現に向けて、国に対し、全体的なスケジュールを早期に示すとともに、進捗状況について情報提供するように強く要望することを求めました。

また、原子力政策については、持続的に原子力を活用するため、次世代革新炉の開発・建設や既存原子力発電所の

運転期間延長等について国の議論が加速的に進んでいることを受けて、安全性の確保に関するわかりやすい説明や、次世代革新炉の開発・建設に向けた具体的な筋道、エネルギー基本計画の見直しを国に求めていくことなどについて議論が交わされました。

そのほかにも、県環境基本計画や県障がい者福祉計画の改定、ふく割クーポンの見直し、物価高騰を踏まえた経済対策、8月大雨災害の復旧状況など県政全般にわたり広範な議論が行われました。

このような審議を経て、閉会日に追加上程された福井県人事委員会委員の選任同意など人事案件3件を含む知事提出議案20件を可決または同意しました。また、議員提出の「福井県議会の保有する個人情報の保護に関する条例(案)」および「緊急事態に関する国会審議を求める意見書(案)」、「冬季観光産業の発展に係る免税軽油制度の継続を求める意見書(案)」を可決するとともに、請願8件の採決を行い、今定例会に付議された案件の審議を終了しました。

特集

意見交換会の開催Ⅰ(福井県へ移住された方)

県議会では、広報広聴活動の一環として、さまざまな分野で活躍されている県民の皆さんとの意見交換を行っています。10月20日に、県外から福井県へ移住され、「ふくい移住サポーター」としても活動されている方々と、福井県の魅力や移住・定住を促進するための課題についてご意見を伺いました。

詳しい内容は福井県議会ホームページにも掲載しています。

【出席者】 広報会議委員 西畑知佐代副会長、小寺 惣吉委員、宮本 俊委員、清水 智信委員
県外から移住された方（笠原 理紗さん、野尻 知子さん、阪野 真人さん）※うち1名はWEB参加

◎福井県の魅力について

- (委 員) 他県から福井県へ移住して、良かった点はありますか。
- (参 加 者) 食べ物美味しい。「越前おろしそば」はさっぱりしていて、妊娠中でもたくさん食べることができた。東京の親戚に福井のお米を送ったところ、評判が良かった。
- (参 加 者) 第2子の保育料や高校の授業料が無償であるなど、子育て世代へのサポートが手厚い。
- (参 加 者) 自然が多く、満遍なく当たり前の田舎があるところが良い。

◎移住・定住を促進するための課題について

- (委 員) 移住して、困ったことはありますか。また、移住・定住促進における課題はありますか。
- (参 加 者) 福井の女性は頑張り屋さんが多く、仕事をして家事もするのが当たり前という考えがある。個人の特性を認めて、男性・女性にかかわらず、すべての人に対して優しい社会になると良い。
- (参 加 者) 男性の育児休業が取りにくい。育休取得や定時退社などが企業に浸透していくと良い。
- (参 加 者) 年功序列が強い。若い世代の価値観が当たり前の社会になっていくと良い。
- (参 加 者) 現在、県主催で移住のお試し体験を行っているが、もっと拡大したほうが良い。福井での生活を体験してもらうことが大事である。
- (参 加 者) 福井に引っ越してきたあとのサポートがあると良い。例えば、県内の各エリアに情報を取得できる場所や話を聞いてもらえる人がいる場所があると移住者にとっては心強い。
- (参 加 者) 福井には都会化してほしくない。都会と同じものをつくっても勝てない。少し不便さを感じるぐらいが楽しい。福井にしかないものを差別化して魅力を発信したほうがよい。





審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください

代表質問

福井県議会だより 第39号 | 3

自民党福井県議会 仲倉 典克 議員



知事の政治姿勢について

- ・令和5年度当初予算編成方針における主なポイントについて何うとともに、「新幹線開業に向けた環境改善対策枠」の創設に至った経緯と狙いについて、見解を伺う。
- ・北陸新幹線の整備促進について、年末の政府予算案決定に向け、これまで実施した度重なる要請活動の評価を何うとともに、敦賀以西の令和5年度当初の着工に必要な予算を勝ち取るための年末まで数週間の知事の戦略を伺う。

自民党福井県議会 松田 泰典 議員



健康福祉行政について

- ・新型コロナウイルス感染症対策に関し、医療提供体制の整備など、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行に備えた県の対策と課題について、知事の所見を伺う。

教育行政について

- ・不登校の児童生徒について、文部科学省の調査によると、2021年度に不登校と判断された小中学生が過去最多の24万人に上ったことが明らかにされたが、今回の調査結果を踏まえ、今後の不登校対策の方針について教育長の所見を伺う。

民主・みらい 野田 哲生 議員



知事の政治姿勢について

- ・北陸新幹線・敦賀以西の整備について、知事は、建設促進同盟会会長としてこれまでに数々の促進大会や要請行動に取組んでこられたが、正念場を迎えた現時点における令和5年春着工の実現可能性について、所見を伺う。

経済・雇用行政について

- ・外国人材の確保について、今年度の高度外国人材受け入れの実態を何うとともに、こういった企業を支援する施策だけでなく、人材不足の解消に向け、本県で働きたいと意欲を持った外国人材を増やすための取り組みが必要と考えるが、所見を伺う。

福井県議会議員表彰

11月29日に、永年勤続議員の表彰式を行いました。表彰の内容は、以下のとおりです。

①福井県議会議員表彰 ②全国都道府県議会議長会表彰 ③知事感謝状贈呈

永年勤続35年



山本 文雄 議員

関 孝治 議員



永年勤続20年



松田 泰典 議員

佐藤 正雄 議員



仲倉 典克 議員

永年勤続15年



大森 哲男 議員

西本 正俊 議員



鈴木 宏紀 議員

一般質問

自民党福井県議会 兼井 大 議員



- ・地域経済の活性化
- ・アリーナ構想と福井県初のプロバスケットボールチーム「福井ブローウィングス」の結成

観光、ふく育割、ふるさと納税、若者支援、ローカル線活性化等頑張ります。

日本共産党福井県議会議員団 佐藤 正雄 議員



- ・生活破壊の岸田政権の下で県民の命と暮らしを守る県政実現を
- ・統一教会の霊感商法などから県民を守ろう
- ・バタバタの福井駅周辺、アリーナどうする
- ・異常な原発推進政治に逆戻りするのか

新たなハコモノ・75億円のアリーナより、学校給食無償化支援等子育て支援を！

自民党福井県議会 笹原 修之 議員



- ・MaaSによる観光戦略
- ・考古的文化財の活用による観光誘客
- ・持続可能な「ふくい」の創造と地域づくり
- ・北潟湖を取り巻く課題

観光MaaSと文化財活用で、福井の魅力を全国に発信！北潟湖の冠水対策も必須！

自民党福井県議会 山浦 光一郎 議員



- ・「暖かい福井にする」
- ・子宮頸がんワクチン
- ・ひとり親世帯への支援
- ・企業誘致

引き続き、子宮頸がんワクチンの積極的な接種を進めるべく頑張ります！

公明党 西本 恵一 議員



- ・出産・子育て応援事業
- ・救急安心センター事業#7119
- ・不登校児童生徒の支援
- ・サイバー攻撃対策
- ・企業の人材確保支援

出産・子育て応援事業は、県のポータルサイトで一括してクーポンで対応すべき。

自民党福井県議会 長田 光広 議員



- ・県内経済の発展
- ・新九頭竜橋開通に伴う住民の安全安心の確保
- ・農業振興策
- ・原子力発電所の警備
- ・障がい者にやさしい環境づくり

まずは円安・コロナ禍の県内景気経済を元気にする成長戦略を！県民負担削減！！

自民党福井県議会 山本 建 議員



- ・ハピラインふくい（並行在来線）
- ・有機農業の普及促進
- ・子育てや介護、仕事と家庭の両立のための家事支援
- ・子どもたちの眼を守る眼育

地域課題の解決に向けて質問と提言を行いました。

民主・みらい 西畑 知佐代 議員



- ・共生社会の実現
 - (1) 障がい者福祉
 - (2) 移住者への支援
- ・後期高齢者医療制度
- ・県民の安全確保

石油備蓄基地や空港のある地域や原発立地地域に地下シェルターの整備検討を。

自民党福井県議会 田中 三津彦 議員



- ・県の東京での事業、キャンペーン等
- ・日本遺産「福井・勝山石がたり」
- ・恐竜博物館休館中の経済対策

恐竜博物館休館の影響は甚大で、しっかりした経済対策が必要です。

民主・みらい 渡辺 大輔 議員



- ・県内の不登校問題
- ・地方公共交通の維持・活性化
- ・教員の新たな研修制度
- ・県内の介護人材確保策

県内の不登校対策、地域鉄道のキャッシュレス化、介護人材確保策について質疑。

◆本会議・委員会の傍聴のお知らせ

本会議の傍聴は、当日の先着順です。議事堂2階の傍聴席入口前で傍聴券を受け取り、入場してください。傍聴席には、質疑等の内容を文字データでお知らせするモニターを配置しています(代表質問および一般質問)。

委員会の傍聴は、各委員会開催日の3日前(土・日・祝日を除く)の正午までに申込みをしてください。傍聴希望者が定員を超えたときは抽選となります。

詳細は、福井県議会のホームページをご覧ください。HP: <https://www.pref.fukui.lg.jp/gikai/>



審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください

一般質問

福井県議会だより 第39号 | 5

民主・みらい 北川 博規 議員



- ・障がい者入所施設の在り方と方向性
- ・令和3年度不登校・問題行動調査結果への対応
- ・福井県における未就園児の現状と対策
- ・登下校の安全確保と防犯カメラの設置状況

障がい者入所施設設置も含め具体的な施策に繋がっていくことを願います。

自民党福井県議会 田中 宏典 議員



- ・原子力・エネルギー政策
- ・嶺南地域への自衛隊配備
- ・国土強靱化対策

原子力・エネルギー政策を責任をもって推進し、GXの実現を求める！

無所属 細川 かをり 議員



- ・内水氾濫
- ・鳥獣害対策
- ・フレイル対策・サルコペニア予防
- ・みどりの食料システム戦略とフードロス

フレイル対策、サルコペニア予防ともに広く周知を。他も、行き渡る行政を！



Facebookでも情報発信しています！
ぜひご覧いただき、いいね！やフォローをお願いします！

福井県議会
Facebook



予算決算特別委員会

自民党福井県議会 力野 豊 議員



- ・エネルギー政策
- ・観光振興
- ・水産漁業における物価高支援
- ・コロナ禍の出口戦略

原子力発電所の安全確保は技術継承が重要、革新軽水炉リブレースで人材育成を！！

自民党福井県議会 斉藤 新緑 議員



- ・環境基本計画

子宮頸がんワクチンの勧奨再開の問題と地球温暖化対策の問題点をたじた。

自民党福井県議会 清水 智信 議員



- ・鯖のブランド化
- ・農林水産物の輸出
- ・健康長寿政策
- ・新九頭竜橋のライトアップ
- ・防犯カメラ

サバのブランド化や防犯カメラの設置補助金、新九頭竜橋のライトアップ提言。

自民党福井県議会 西本 正俊 議員



- ・北陸新幹線敦賀以西
- ・原子力政策
- ・洋上風力発電
- ・鳥獣害対策
- ・県民アンケート

獣害対策について対策状況と成果、また今後の対策方針と方策についてたじた。

自民党福井県議会 鈴木 宏紀 議員



- ・県政全般

代表質問、一般質問を行った議員は、この欄には掲載していませんが、予算決算特別委員会で、細川かをり議員、田中 三津彦 議員、田中 宏典 議員、野田 哲生 議員、北川 博規 議員も質問を行っています。

審議の様子は、議会ホームページからYouTubeでご覧になれます。

常任委員会

総務教育常任委員会

「福井県手数料徴収条例の一部改正について」などの5議案について審査を行い、原案どおり可決しました。

また、請願4件の審査も行い、「不登校の子どもたちのための多様な教育支援の場の確保に関する請願」および「ICT活用による学校業務の効率化の推進に関する請願」については採択、「統一教会と政治家との癒着の徹底解明を求め、宗教法人の解散命令を請求することを求める意見書提出についての請願」については不採択と決定しました。また、「緊急事態に関する国会審議を求める意見書の提出を求める請願」については採択と決定し、本請願に基づいた意見書案を議長あてに提出しました。

所管事務の調査では、「大学を核とした地方創生の取組」、「福井県県民社会貢献活動推進計画改定の骨子案」、「福井県学校教育DX推進計画(仮称)骨子案」等について議論しました。



ICT機器を活用した授業

厚生常任委員会

「指定管理者の指定について」の議案について審査を行い、原案どおり可決しました。

また、請願の審査も行い、『『地域の子どもの居場所』を増やすための支援活動の推進に関する請願』については採択、「日本政府に沖縄南部戦没者遺骨混じり土砂の基地建設埋立て等への使用撤回を求める意見書に関する請願」については不採択と決定しました。

所管事務の調査では、「原子力発電所の運転期間延長」、「原子力総合防災訓練」、「新型コロナウイルス感染症対策」、「外国人介護人材の確保」について質疑を行いました。このほか、「福井県環境基本計画の改定」、「緊急一時避難施設の整備状況」、「第7次福井県障がい者福祉計画の改定」、「全天候型子どもの遊び場の整備」等について議論しました。



関西電力(株)美浜発電所の現場視察

産業常任委員会

「訴えの提起について」の議案について審査を行い、原案どおり可決しました。

また、請願の審査も行い、「免税軽油制度の継続を求める意見書提出に関する請願」については採択と決定し、本請願に基づいた意見書案を議長あてに提出しました。

所管事務の調査では、「ふくいdeお得キャンペーン地域クーポンの転売対策」、「北陸新幹線福井・敦賀開業の認知度」、「アリーナ構想の実現に向けたプロスポーツチームの支援体制」、「ふくい経済ビジョン(仮)」、「西武福井店の外資系企業への経営譲渡」、「労働力人口減少を見据えた外国人材の確保」、「県営産業団地への企業誘致」、「第3次いちほまれブランド戦略」、「県産米販売戦略の差別化」等について議論しました。



ふくい経済ビジョン(仮)策定に向けた検討

土木警察常任委員会

「指定管理者の指定について」などの3議案について審査を行い、原案どおり可決しました。

また、請願の審査も行い、「危険な通学路の修繕や交通規制等の事故防止対策の強化に関する請願」について、採択と決定しました。

所管事務の調査では、「110番映像通報システム」について調査を行うとともに、「交通事故多発箇所への対策・道路管理者との連携」、「横断歩道の修繕」、「交番での相談体制・女性警察官の配置状況」、「中部縦貫自動車道の事業費増嵩」、「足羽川ダムの実業費の事業費増嵩」、「福井空港」、「今年度の除雪体制」、「県発注工事の週休二日」等について議論しました。



110番映像通報システムのイメージ



審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください

予算決算特別委員会

福井県議会だより 第39号 | 7

本委員会に付託された令和4年度福井県一般会計補正予算などの7議案について審査を行った結果、原案のとおり可決または承認しました。審査の過程であった主な質問や意見は次のとおりです。

○北陸新幹線について

敦賀・新大阪間の令和5年度当初の認可・着工が事実上不可能な見通しとなったことを受けて、2年前の政府の約束がほごにされたことへの知事の受け止めと、今後の対応をただしたのに対し、「極めて遺憾であると考えているが、これで諦めるわけではなく、従来、認可後に行っていた施工上の課題を調査するための予算を別枠で確保してもらうことが大切。本日、開催が予定されている整備委員会や与党PTでの議論を確認した上で、議会とともに前に進んでいきたい」との見解が示されました。

また、環境アセスメントや着工5条件の解決、工事実施計画の認可などのプロセスごとに、県として進捗管理を行う必要があるのではないかとの質問に対し、「県としても、議会とともに進捗を確認していくことが非常に重要と考えており、国にスケジュール感を示していただいた上で、適時適切に沿線自治体に情報提供するよう議会とともに求めていきたい」との見解が示されました。

さらに、小浜ルート実現への機運や熱意が冷めてしまうことのないよう、認可着工に向けて一歩ずつ前進している姿を目に見える形で県民に示すことが重要だが、前倒し調査や予算が事実上の着工に値するのかとただしたのに対し、「政府としては、いずれ行わなければならない課題を前倒して行っておけば、全線開通までの期間をトータルで見たときに今のままか短くできるという考え方。まずは、来年度予算と、前回の決議に代わるようなものを示していただきたい」との見解が示されました。

加えて、新大阪までの完成時期が示されていない中で、認可前の調査により、完成時期を遅らせないことが担保されるのか確認できないのではないかとの質問に対しては、「大事なことは、ゴールをしっかりと決めた上で事業を進めていくこと。ルートを決めて、課題を洗い出し、丁寧に地元の了解を得て、着工5条件などを整理していくことが重要。こういった方向で県議会とともにさらに取り組んでいきたい」との見解が示されました。

○原子力政策について

原子力政策の議論が加速的に進む中、運転期間の延長について、安全審査等による停止期間を算入しないことで事実上の60年超運転を可能とする方針が示されているが、総合資源エネルギー調査会基本政策分科会等において知事はどのようなことを国に求め、政府の原子力政策に反映されているのか県の見解をただしたのに対し、「安全最優先でないものは動かせないと申し上げていたが、そうすると今度は30年超については10年ごとに基準を設けて審査していくという話が別途規制委員会から出てきてバラバラに議論し分かりにくいので、一つにまとめて議論すべきと申し上げている」との見解が示されました。

これに対し、委員から利用政策側と安全規制側では議論する中身が異なることは当たり前だが、知事が分かりにくいと表現したことについての真意を確認したのに対し、「政府として原子力はこういう形で規制もしっかりやっているから運転期間が延びても安全だというトータルメニューを見せて判断するというのがなければ、原子力行政は進まないと考えている。両者が話し合い、一つの結果を見せるべき」との見解が示されました。

さらに委員から、こういった立場の方が国の原子力のあり方を決定するべきと考えているか県の見解をただしたのに対し、「閣議レベルで決めれば、利用政策側も安全規制側も入っている」との見解が示されました。

また、原子炉等規制法を改正してまで運転延長することに関し、県に対して県民が納得する安全性のわかりやすい説明と県民の合意や恒久的な福祉施策を求めたことについて、「県としては、安全の確保、地域住民の理解と同意、恒久的福祉の実現という原子力行政の三原則を中心としながら、安全第一でこれからも原子力行政を運営してまいりたい」との見解が示されました。

さらに、安全性を徹底的に高めた革新炉の開発・建設の具体的な道筋を早急に示すよう、国に強く求めるべきではないかとただしたのに対し、「大きな投資であり、物を作ることに集中して安全面がおろそかになることが危惧される。国としてこういったところを担保される形で枠組みを作るべき」との見解が示されました。

また、現在、国が示している原子力政策と閣議決定を伴うエネルギー基本計画が明らかに齟齬を生じていることから、エネルギー基本計画見直しの実現可能性についてただしたのに対し、「原子力の将来像が見えるように必要な量や道筋を明確にいただき、その上で齟齬が生じるようであればエネルギー基本計画の見直しの検討を進めるよう引き続き国に求める」との見解が示されました。

○新型コロナウイルス感染症対策について

地方からも新型コロナウイルス感染症を5類に引き下げるよう国に要望するとともに、引き下げた場合の医療提供体制を先駆けて構築し、全国に発信すべきとただしたのに対し、「新型コロナウイルス感染症については、第7波以降の60歳以上の重症化率は0.08%であり、以前からインフルエンザと同じ扱いにするよう国に求めてきた。県内の内科・小児科の8割にあたる329医療機関でコロナの外来の治療・療養を受けており、新しい福井モデルの体制を整えている。一方で、医療費やワクチン接種といった治療費の公費負担は残すということはこれからも強く求めていきたい」との見解が示されました。

○ウェルビーイング社会について

ふくい経済ビジョンの骨子案で示された日本一のウェルビーイング社会を構築するための考え方や具体的な施策についてただしたのに対し、「社会全体としての客観的な指標もこれからもどんどん高めていくことも大事であるが、ウェルビーイングを考えたときに大切なことは、社会全体ではなく、一人ひとりに脚光を浴びせることであり、客観的な指標だけでなく、主観的な部分にも入り込んだ形で一人ひとりの最大幸福を追求していくことが必要と考えている」との見解が示されました。

また、福井県長期ビジョンとのつながりについてただしたのに対し、「経済全体のパイを大きくし、配分を個人に広げていくことで経済的豊かさを追求していく。その上で、働きやすい環境をつくり、賃上げやリスクリングで一人ひとりが仕事も生活もトータルでみて幸福実感が得られるような社会となるよう進めていきたい」との見解が示されました。

このほか、福井県環境基本計画の改定内容、洋上風力発電の推進、ふく育割クーポンの見直し、子ども医療費助成事業の拡充、外国人材を確保できる体制整備、防犯カメラの設置支援策など広範多岐にわたり、理事者の見解と対応をいただきました。



北陸新幹線 駅・ルート図

10月26日には、県内でまちづくりに取り組んでいる若者からまちづくりに望むこと等についてご意見を伺いました。詳しい内容は福井県議会ホームページにも掲載しています。

【出席者】 広報会議委員 鈴木 宏紀会長、佐藤 正雄委員、島田 欽一委員、山本 建委員
半田 智咲さん（福井商業高校2年）、堀 裕貴さん（株式会社デキタ）※WEB 参加、見神 昂大さん（福井工業大学2年）



◎福井県のまちづくりの現状について

- （ 委 員 ） 北陸新幹線の県内開業に向けて、開発などが進んでいる現状についてどのように感じますか。
- （ 参 加 者 ） 駅周辺に施設を建設中であるが、若い人はそのような情報を知らないのでは、若者にアピールしたほうがよい。
- （ 参 加 者 ） 北陸新幹線が開業することで、移動がしやすく、ビジネスなどにとっては良い面もあるが、サンダーバードなどがなくなるのは寂しい。
- （ 参 加 者 ） 福井市の中央公園は開放的で老若男女問わず楽しめるが、福井駅東側も活性化してほしい。多目的アリーナの整備構想は非常によいと思う。
- （ 参 加 者 ） 嶺南地域にとっては、近江今津駅が関西からくる観光客の二次交通の拠点であるが、滋賀県であるため関与できない。県境を越えての連携ができるとよい。
- （ 参 加 者 ） 地域密着型のショッピングモールや福井駅前商店街、福井城跡地に建つ県庁などがあるのは、福井の魅力だと思う。

◎魅力あるまちづくりについて

- （ 委 員 ） 福井県のまちづくりについて、疑問点や不足する点はありますか。
- （ 参 加 者 ） 芦原温泉駅に足湯をつくって、温泉の街であることをアピールしたほうがよい。
- （ 参 加 者 ） 福井は都市化を進めているが、画一的な都市化よりも恐竜や自然、学力の高さなど、福井にしかないものを極めていくほうがよい。
- （ 参 加 者 ） インターネットを使ったゲームの大会や自然を生かしたアウトドアなどを民間とコラボしてやれば、福井は色々なことができる県だという認識ができ、興味のある人が福井に来るのではないかな。

◎広報会議委員が意見交換会の参加者の活動現場を訪問しました。

11月23日、鈴木宏紀議員（広報会議会長）が、10月26日に実施した意見交換会の参加者が所属する(株)デキタを視察しました。菱屋（シェアオフィス）、八百熊川（古民家の宿）を視察し、活動状況について伺いました。



11月27日、西畑議員（広報会議副会長）が、10月20日に実施した意見交換会の参加者の活動状況の視察のため、池田町を訪問しました。県外から福井県へ移住された方々での地元野菜を使った料理作り・交流会に参加し、お話を伺いました。



「福井県議会だより」へのご感想をお聞かせください。

福井県議会ホームページの「福井県議会だよりアンケート」のページから、ご感想、ご意見を願います。



発行 福井県議会広報会議

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1

福井県議会 議会局総務課

電話：0776-20-0605 FAX：0776-20-0674

HP：https://www.pref.fukui.lg.jp/gikai/

Facebook：https://www.facebook.com/fukuikengikai